

地域のリサイクル情報誌

『ヴェーナス通信』



商標登録第 4882482 号

Venous (静脈) Venus (護美の女神)

第91号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18
TEL : 042 - 395 - 9788
FAX : 042 - 395 - 9787



「紙はごみじゃない！」そして「分ければ資源」です

一昨年より、公益財団法人古紙再生促進センターが主催する「紙リサイクルコンテスト」の審査員を務めています。同コンテストに協賛している日本再生資源事業協同組合連合会からの推薦です。毎年、日本中の多くの小中学生から紙のリサイクルに関する作文と絵が応募され、その中から最終選考に残った数十作品を審査します。事前の読み込み、採点、審査会でのコメントとなかなか責任重大な任務です。小中学生の皆様の着眼点、行動力に驚くと共に、時には大人のリサイクルへの関心の低さを鋭く指摘し、改善を促すようなメッセージには、同じ大人として身につまされつつ、業界の人間としては、もっとしっかり発信しなければと反省をさせられます。長年紙のリサイクルに携わっていることで、正直なところ私の中でマンネリ化している部分がありました。子供たちの作文には、そ

のような私を再び奮い立たせてくれるパワーが込められていると思います。

また、作文を評価する上で文章力や内容だけでなく、実際の行動が伴っているかを判断材料にすることが多いのですが、逆に私たちは実際の行動が伴っているのか、そんなことを突きつけられている気もします。家や会社では分別するけれども、外出先ではどうでしょう。コロッケ先生こと故小六信和氏は、多くの子供たちに「紙はごみじゃない！」と紙のリサイクルの重要性を伝えてこられました。箸袋やコースターなど、出先で提供された紙類も持ち帰ってリサイクルするということまで徹底されていたそうです。私もお話を聞いた直後はやったりやらなかったりしていましたが、子供たちの作文からコロッケ先生の言葉を思い出して、改めて持ち帰る様にしています。

分別について、説明しようとする、どうしても多くの言葉が必要になりますが、一番大事なメッセージは、ごくシンプルな言葉に込められています。昔から言われている「分ければ資源」です。「紙はごみじゃない！」と合わせて、不偏的に、何度でも発信していくべきメッセージとして、言葉と、行動で示していきたいと思っています。(TKO)

※なお、コンテストの入選作品は、古紙センターのホームページから見る事が出来ますので、是非ご覧下さい。



●ヴェーナス通信91号 目次●

- P 1…「紙はごみじゃない！」そして「分ければ資源」です
- P 2…回収現場からの声『紙のリサイクルを円滑に進めるためにご協力お願いします』
- P 4…リサイクル掲示板『資源物（古紙・古着）の出し方のプロになろう！』
- P 6…回収車両運転者安全講習会、小平 RC 安全ミーティング、東多摩青年部総会、東資協青年部総会
- P 7…人材確保支援事業、東資協新年会、青年部施設見学会、今後のリサイクルイベント
- P 8…ひやかしの語源、行事・行動、編集後記

●回収現場からの声●

『紙のリサイクルを円滑に進めるためご協力をお願いします。』



市民の皆様におかれましては、日ごろ資源回収にご協力を賜り、本当にありがとうございます。当組合では、毎月各会社の責任者が集まって業務委員会を開催しています。ここで、実際の回収現場から上がったってきた問題点、ヒヤリハットや外部コミュニケーションを共有し、業務の改善に努めています。今回は、直言拝聴のコーナーの内容を少し変更し、そんな現場からの声をお伝えしていきたいと思えます。

●おまじないに・・・

大多数の市民の皆様が、しっかりとルールを守って出して頂いていることに感謝申し上げます。これ

から出てくるルールが守られていないケースは、ごく一部の方々だと認識しております。また、私たちの作業員が見落としや勘違いをしてしまうケースもありますので、その点につきましても素直に反省をさせて頂きつつ、常に改善を図っているところです。

ただ、実際の現場では困っていることも多々ありますので、お願いばかりで申し訳ありませんが、こうして広報をさせて頂く趣旨であることをご了承賜ればと存じます。

●回収現場からの声・・・

〈市民の皆様への感謝〉

・「いつもありがとうございます、お疲れ様」と、市民の皆様から声をかけて頂き、仕事の励みになります。

・大きな車で、二台連ねて住宅街を走らなければなりません。



新聞・雑誌（雑がみ）、段ボール、古着、牛乳パックと分けて積むので、複数の車両で回収することも多いです。

道を譲って頂いたり、回収が終わるまで待っていて下さる方に感謝しています。逆に、怒られたり、他の車両に煽られたりすることもありますが、なるべくご迷惑をおかけしないよう速やかに作業しています。

〈後出し、取り残し〉

・未回収の連絡を受けて回収に行ったところ、先ほどは荷物が出ていなかった家だった（回収終了後に後から出されていた。）

・回収をしている最中に資源を出して下さる方がいらつしやいます。お待ちして回収をさせて頂きますが、タイミングがずれると後出しになってしまうので、決められた時間までに出しておいて欲しいです。

〈分別に関して〉

・段ボールの中に、段ボールと雑がみを混ぜて出されるケースが多くて困っています。回収現場では、段ボールの中から雑がみを取り出して分別しながら積み込みをしています。

段ボールと雑がみは分別し、雑がみは、紙袋に入れて出して頂きたいです。



上の写真は、段ボールに雑誌や雑がみが混ざっています。現場では分別しながら回収します。

・新聞整理袋の中に、新聞以外の古紙が入っていた。ひどい時は、間にプラスチックなどのごみが入っていたこともある。新聞の中には、新聞紙と折り込みチラシ以外は入れないで欲しい。

・雑がみの中に、割りばし、チリ紙、マスクなどのごみが入っていることがある。古紙の中に紙以外のものは入れないで欲しい。



写真のようにごみが混入していると、その場で分別が必要で、処分代も掛かります。

- 古紙の袋の中に古着を一緒に入れてしまっている方がいる。古着が製紙会社のマシンに絡みついてクレームにつながることもあるので、**古紙の中に古着を入れずに、別に袋に入れて出して欲しい。**

〈荷物の出し方について〉

- 段ボールを畳まないで出されていることが多い。中身が入っていると困るので、パッカー車の場合でもそのまま巻き込むことは出来ない。段ボールの中には、蛍光灯や発泡スチロールが入っていたこともある。小型家電が入っていて、リチウムイオン電池が破損してぼや騒ぎになったこともある。
- 段ボールは中身が空であることを確認するためにも、潰して束ねて出して欲しい。**

- 風の強い日は、雑がみやシュレッダー古紙が飛散してしまうことがあります。紙が飛び散らないように袋等に入れて下さい。
- 雑がみをビニール袋に入れて出されている方がいるが、破袋するのには手間取ることがある。雨の日の新聞を包んでいるビニール

- ルや、ダイレクトメール、ビニールの封筒なども剥がしてから出して欲しい。



ダイレクトメール、新聞や説明書などをビニールで包んで取り外して下さい。

- 古着を七〇リットル以上の大きな袋に詰め込まれて出されると、重くて持ち上がりません。**古着はあまり詰めすぎないで下さい。**



古着を積み込むのはなかなか大変な作業です。

- 古着やシュレッダーの袋を一度に大量に出されると、それだけで積み荷がいっぱいになってしまいます。パッカー車の場合、まだ中には荷物を積めるのの上に載せた古着があふれて途中で帰らなくてはならない時もあります。引っ越し等でやむを得ない時もあると思いますが、**古着やシュレッダー古紙は、計画的に少しずつ出して欲しいです。**

〈その他〉

- 雨の日でも、古着が出ていることがある。濡れないようにして頂いても、回収中に濡れてしまう。濡れると清掃工場に持ち込んで焼却処分になってしまうので、もったいない。

- 雨の日は、濡れないようにとご配慮頂いて、いつもと違う軒下に出されていることがあります。お気持ちはありがたいのですが、見落としてしまうことがあります。**雨の日でも、古紙は多少ぬれても大丈夫なので、いつもと同じ場所に出して下さい。**

- 『置き配』が資源のすぐ近くに置かれていて、間違えて回収しそうになった。最近の『置き配』は、配送伝票がバーコードになっているので、分からないものも多い。確認のために箱を開けたら『置き配』だったこともある。住民



この写真の中に『置き配』があります。さて、どれでしょう？

の方に丁寧にご説明してご理解頂いた。置き配はなるべく早くお手元に取り込んで欲しい。

- 新聞販売店や福祉団体の集団回収が同じ日に重なってしまうと行政回収の荷物かどうかを逐一確認しなければなりません。この場合、チラシなどが載っていない資源物に限って回収してあります。回収日が重ならないようご配慮をお願いいたします。

●円滑な回収作業のために

「ご協力をお願いします。」

適切ではない出し方に対する対策として、市に依頼して市報等で広報したり、チラシや違反シールを活用して直接ご注意をさせて頂いておりますが、周知を徹底するのはなかなか困難です。

未回収や誤回収については、回収業者側の見落としや不注意もありますので、改めて気を付けて参ります。市民の皆様にも資源を出す際にご注意いただきたいことを次の『リサイクル掲示板』のコーナーにまとめてみました。併せてご拝読賜ればと思いますので、よろしくお願いします。

リサイクル掲示板

資源物（古紙・古着）の出し方のプロになろう！

日頃は、資源の分別排出にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。前段の回収現場からの声を受けて、改めて資源物の正しい出し方についてご説明をさせていただきます。

日本のリサイクルは、海外のようなシングルストリーム（混合回収）ではなく、市民の皆様の分別排出、回収業者の分別回収、再資源化事業者での選別加工と三者の協力の元に成り立っています。排出段階から分別されているため、諸外国に比べてごみの混入や汚れが少ない、きれいな再生原料となっています。この品質を維持していくためにも、円滑な資源回収のためにも引き続き、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。



① 資源物は、決められた時間までに出して下さい。

皆様は、ごみや資源物を何時ごろ出していますか。いつも回収車が出る時間までに出せばいいと思いませんか？回収にお伺いする時間は、その日によって変わることがあります。ルートの変更によって回る順番が変わることもあれば、資源物の量によっても時間が前後します。このため、**東村山市・小平市では朝8時まで、その他の市では8時半までと各市指定のお時間までに出して下さい。**



また、年末年始の発生期や、雨の降った次の回収は量が多く、遅くなると16時くらいまでかかることがあります。まだ回収されていないとお電話を頂くことがあります。周りがまだ回収されていないようでしたらしばらくお待ちください。

② 戸別収集の場合は、道路から見やすい場所に出して下さい。

戸別収集では、一軒ずつ確認しながら回収を行っていますので、道路から見づらい塀や車の陰、門扉の内側などに出された場合、回収されない可能性があります。運転手に発見されやすいように、**古紙・古着は、道路際の敷地内に出して下さい。**

また、資源物はごみと同じバケツに入れてしまうと臭いが付いてしまうこともあるので、なるべくバケツに入れなくて下さいとお願いしています。**古紙・古着は、バケツには入れなくて下さい。風の強い日などは、飛散しないように重しを載せるなどの対策をお願いします。**



○のところは、敷地内に入る必要がある、車に傷をつける恐れがある、車の陰で見えないのでNGです。○の道路際の敷地内がベストです

③ 古紙は種類ごとに分けて出して下さい。

古紙は、新聞、雑誌（雑がみ）、段ボール、牛乳パックとそれぞれ再生用途が異なり、原料として使用する古紙も製紙会社によって異なります。このため、品目ごとに分けて回収、再資源化をする必要があります。**古紙は、品目ごとに分けて出して下さい。**

特に多いのが、段ボール箱の中に、段ボールだけでなく雑がみを混ぜて出されているケースです。回収の際には、段ボールと雑がみを分けながら積み込みをしなければならず、円滑な回収作業の妨げになっています。**雑がみは、段ボールに入れなくて、紙袋に入れるか、雑誌に挟むなどして出すようにして下さい。**



④ 古紙には、紙以外のものやリサイクル出来ない紙は入れなくて下さい。

雑誌の付録（CD、化粧品など）や不織布のマスク、割りばしなどの木製品、クリップなどの金具が混入しているケースが多く見られます。**古紙には紙以外のものは入れなくて下さい。**（ホッチキスの芯はそのままで大丈夫です。）

また、紙は紙でも、リサイクル出来ない禁忌品があります。**特に、汚れや油のついた紙、臭いのきつい紙（線香や洗剤の箱）は、絶対に入れないようにお願いします。**



左の写真の紙ではないもの、右の写真の線香や洗剤の箱など臭いのきつい紙は**禁忌品**です

⑤ 古着を大きな袋に詰めすぎないように、また一度に大量に出さないようにお願いします。

時々、古着を70リットル以上の大きな袋にたくさん詰めて出されることがあります。重くて、回収員が持ち上げるのに一苦労しています。古着は、トラックのルーフや古紙を積んだ上に積むことが多く、重すぎると積み上げられません。**古着は大きな袋に詰め込み過ぎず、45リットル以下の袋に、ほどほどに詰めて出して下さい。**

また、古着やシュレッダー古紙の袋は、大変嵩張るため一度に大量に出されてしまうとそれだけで回収車がいっぱいになってしまい、途中で荷物を下しに帰らなくてはならず、回収の時間が余計にかかってしまいます。**古着やシュレッダー古紙は、1回に2〜3袋程度と計画的に少しずつ出すようにして下さい。**



このように、一度に大量に出されると、回収作業に手間取ります。

⑥ 古着は雨の日には出さないで下さい

古着は、濡れたり湿気がこもることによってカビが生えてしまうと資源になりません。このため、雨の日には出さないようにお願いしています。雨の日に出された古着は、回収をした上で秋水園・柳泉園で焼却処分をしています。貴重な資源を守るためにも、**雨の日には古着を出さないようにお願いします。**

なお、**古紙は多少ぬれていてもリサイクルするには問題ないため、雨の日に出しても大丈夫です。**いつもと同じ場所に出して下さい。



雨の日は、古布を出さないで！

⑦ 荷物の誤回収にご注意ください

資源の回収日に、紙や布類が道路から見えるところにあると、資源に出したものでなくても間違えて回収してしまう可能性があります。

最近多いのは、『置き配』です。段ボール箱や茶袋が玄関先に置いてあると間違えてしまいます。**『置き配』は、届いたらなるべく早くご自宅に取り込んで下さい。**他にも、引っ越し用の段ボール、クリーニングに出す衣類、陰干ししていた雑誌類を間違えて回収してしまったこともあります。**回収して欲しくないものは、分かるように保管をお願いします。**

また、新聞販売店の回収や集団回収が重なった場合、間違えて回収してしまう恐れがあります。必ず古紙の上にその旨のチラシを載せて下さい。また、**新聞販売店や集団回収団体の皆様におかれましては、回収日のご配慮をお願いします。**



『置き配』を資源物の近くに置いて行かれることが多発しています！

以上、分別排出のプロである市民の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

二〇二四年度 資源回収
車両運転者 安全講習会

去る二月三日(月)東村山市民センターにて資源回収車両運転者安全講習会が開催されました。当日は組合員十社およそ百名の運転手が参加し受講いたしました。

今回は、企画運営を共同受注検査委員会のメンバーが執り行う初めての安全講習会となり、委員のメンバーがそれぞれの役割につき会に参加いたしました。

福田委員の開会宣言の後、伊藤委員による「東多摩再資協 安全・行動宣言」の唱和を組合員全員で行い、吉浦理事長の挨拶が行われました。

続いて、来賓としてご臨席いただいた、東村山市環境資源循環部ごみ減量推進課課長武田様、西東京市みどり環境部ごみ対策課課長西川様よりご挨拶をいただき、東久留米市環境安全部ごみ対策課課長長山口様からのメッセージを木村委員が代読させていただきました。小嶋委員より安全講習会の趣旨説明があり、紺野専務理事による安全講習会が開催されました。私たちが委託を受けている各市行政回収において、私たちに求められ



回収作業後の作業員が一堂に会して安全運転について学びました。

ているものは何か? また、組合の安全に対する取り組みについて、この安全講習会を通じて組合員の思いを一つにする機会として講習を受けました。

最後に福田業務委員長の講評では、安全・行動宣言の内容に組合のすべての思いが詰まっている、今一度内容を再認識しましょう、との言葉で閉会となりました。

小平市リサイクルセンター作業員の安全ミーティングを実施

二月二七日、小平リサイクルセンターの作業員を対象に、安全ミーティングを実施しました。

まずは全員で、東多摩再資協安全・行動宣言を唱和から始まりました。

作業する上で、どこに危険な場所があるか、どうしたら事故を防

げるかについて、話し合いました。皆の前では発言しづらいとの声から、目安箱を設けたらいいのではないかと意見があり、試してみることになりました。

何よりも安全第一で事故のない作業環境を目指すためにも、これからも定期的にミーティングを実施していきたいと思われました。

(日興紙業商事 福田)

東多摩再資協青年部総会

去る四月一八日、清瀬市の同心居にて、第二三回となる青年部総会を開催しました。来賓として、吉浦理事長始め理事の皆様にもご臨席を頂きました。

役員改選では、引き続き水野敬一氏が部長を務めることになり、以下役員も留任となりました。昨年度の青年部はあまり活動が出来ませんでした。今期は新たに青年部員を拡大し、今後の青年部の在り方を検討していくことになりました。



今期は、さつそく四月から施設見学企画もあり、積極的な活動をしてまいります。(AYK)

第二二回東資協青年部総会

四月二五日、当組合の吉浦亜矢子氏が青年部長を務めている東京都資源回収事業協同組合青年部の第三二回通常総会が新宿のいけす無門にて開催されました。武田理事長始め五名の理事にもご臨席を頂きました。今回は、吉浦青年部長が就任して丁度一年が経過し、任期中間の総会ということになります。事業報告及び決算報告、事業計画及び収支予算とすべての議案が無事に承認されました。

昨年度は、韓国視察や交流事業など精力的に活動して参りましたが、今年も組合事業に関するプレゼン大会が六月に控えている他、今年も視察研修の企画をしようなど、懇親会では今期のイベントの話題で大いに盛り上がりまして。



東多摩支部からは、吉浦部長始め五名が在籍していますが、今年も部長を支援して活動盛り上げていきたいと思っております。

(公財)東京しごと財団の業界
別人材確保オーダーメイド型支
援事業を実施

当組合では、公益社団法人東京都リサイクル事業協会を通じて、昨年度表記の支援事業に組合の他組合員四社が参加しました。コンサルタントを各事業所に数回にわたって派遣して頂き、人材採用や社員の定着に関してご指導を頂きました。無料で求人広告を掲載できるサイトや、求職者目線での求人広告の作成など、実践的な内容で、当組合ではこの結果を活かし、小平市リサイクルセンターの作業員及び事務局員の採用活動に役立てることが出来ました。

また、この事業の成果報告として、冊子及び動画の作成が行われ、冊子では、株式会社ケイシンが取材を受け掲載されました。そして、紹介動画では、東リ協会の会員事業所及び小平市リサイクルセンター内で撮影が行われ、私たちの業界の仕事内容が紹介されました。それぞれホームページで閲覧可能となっておりますので、是非ご覧下さい。(TKO)



記事のQRコード



動画はこちらから



吉川太郎氏叙勲受章祝賀会
・東資協新年賀詞交歓会

去る二月一日(土)、東京ガーデンパレスにて、東資協の歴代理事長であり、世田谷リサイクル協同組合の初代理事長でもある吉川太郎氏の旭日双光章受章祝賀会が新年賀詞交歓会と合わせて開催されました。吉川氏ご本人は、体調不良により当日ご欠席となりましたが、ご令嬢の淳子さんが代理を務められ、粛々と祝賀会・新年賀詞交歓会が執り行われました。

吉浦理事長、小畑副理事長は、プライベートでも親交が深く、私にとっては、東資協青年部長時代の理事長であり、当組合としても関係の深かった方ですので、東多摩からも多数参加しました。

吉川氏は、祝賀会の無事の終了を待ったかのように、約一週間後にご逝去されました。組合員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(TKO)

組合青年部施設見学会を実施

去る四月二三日、東資協の組合員である株式会社完山金属の毛呂山リサイクルセンターを見学しました。見学会は、当組合青年部が主催し、東資協にもお声がけして十五名が参加しました。こちらは、同社が昨年開設した、太陽光パネルと蛍光管の処理設備とRPF(ごみ固形燃料)のプラントを有する施設です。

太陽光パネルの処理設備は、アルミ枠を取り外し、パネルのガラスを粉碎して取り除く機械です。オートではなく、人手が必要な装置ですが、現段階ではこれが最新の処理方法だそうで、これから処分の需要が増えて行くことが期待されるそうです。RPFは、繊維と木くずとプラスチックを原料にしていますが、塩素が含まれていると炉を傷めてしまうので、原料となる廃棄物の選別に苦慮されています。



廃棄物全般が減っていく中で、新たな品目に挑戦していく完山金属さんに学びと刺激を頂きました。

●春～夏の当組合が出展するイベント案内●

今年度も、各市で開催されるイベントに出展いたします。おもちゃ・育児用品などの小物雑貨類の無料回収、分別に関する啓発活動などを行います。是非、足をお運びください。なお、詳しくは、各市の市報やホームページをご確認ください。

- ・5月11日(日) 10:00~15:00 こだいら環境グリーンフェスティバル @中央公園他
- ・5月27日(火) 13:30~15:30 小平市リサイクルきゃらばん @小川西グラウンド
- ・6月7日(土) 10:00~16:00
- 8日(日) 10:00~15:00 東久留米市環境フェスティバル @市役所市民プラザ他
- ・7月26日(土) 9:00~14:00 きよせの環境・川まつり @台田運動公園他

コラム 『ひやかしの語源』

NHKの大河ドラマ「べらぼう」に江戸時代の吉原遊女の話が出てくる。

その隣の浅草には当時、古紙で作る再生紙「浅草紙」の製造業者が立ち並んでいた。古紙を水に冷やかして紙繊維がばらばらになるまでの間、職人たちは暇つぶしに吉原の町で遊女を揶揄っていた。「カラカウ」が「ひやかす」となった語源だと言う。

尚、「べらぼう」の語源は、穀物類を潰す「筥棒・へら棒」から生まれたようだ。(きくつぶし)、働かぬせいで食ふことだけ一人前の者をののしった言葉に重ねた語源だ。

やがて「常識外れなバカげたこと」として江戸方言として使われ、「てやんでい、べらぼうめ！」などと喧嘩言葉としても広がった。

(顧問 紺野)

行事・行動

【二月】

- 一日：吉川太郎氏叙勲受章祝賀会
：東資協新春賀詞交歓会
- 三日：回収車両運転者安全講習会
- 五日：小平RC責任者会議
- 十日：小平RC関連JV会議

【四月】

- 二日：小平RC責任者会議
- 七日：小平RC関連JV会議
- 十一日：東資協理事会
- 十四日：財務委員会
：定例理事会
- 十五日：共同受注検査(西東京市)
- 十六日：共同受注検査(東村山市)

- ：定例理事会
- 十七日：東リ協PR動画撮影(小平RC)
：小平市リサイクルきゃらぼん
- ：業務・集団回収委員会
- 十八日：東村山市廃棄物減量審
：全国牛乳容器環境協議会
- 二十日：東リ協会リサイクルフォ
：ラム・陽春の集い
- 二一日：東資協理事会

【三月】

- 四日：小平RC責任者会議
- 十日：小平RC関連JV会議
：小平市リサイクルきゃらぼん
- ：定例理事会
- 十一日：安全講習会第一回補講
- 十二日：安全講習会第二回補講
- 十四日：東資協理事会
- 十五日：日資連理事会
- 十七日：業務・集団回収委員会
- 十九日：東大和市廃棄物減量審
- 二十四日：古紙センター理事会
- 二六日：小平市廃棄物減量審
：東リ協会理事会
- ：東村山市収集業者連絡会議

【五月】

- 一八日：共同受注検査(東久留米市)
：東多摩再資協青年部総会
- 一九日：日資連理事会
- 二一日：業務集団回収委員会
：福利厚生委員会
- 二三日：共同受注検査(東村山市)
：青年部施設見学会
- 二四日：共同受注検査(東久留米市)
：古紙センター理事会
- 二五日：東資協青年部総会
- 二八日：共同受注検査(東村山市)
- 三十日：初任運転者講習会
：東村山市収集業者連絡会議

- 二日：小平RC責任者会議
- 七日：小平RC関連JV会議
：東村山市エコライフフェア実行委
- 九日：東資協理事会
- 十一日：小平グリーンフェスティバル
- 十二日：財務委員会
：定例理事会
- 十四日：共同受注検査委員会
- 十六日：小平市廃棄物減量審
- 十七日：東村山市集団回収団体連絡会
：日資連理事会
- ：第七六回東資協総会
- 二三日：第三二回組合総会
- 二六日：東リ協会理事会
：業務集団回収委員会
- 二七日：小平市リサイクルきゃらぼん
- 二九日：東リ協会通常総会
- 三十日：古紙センター理事会

編集後記

米国のトランプ大統領就任後の関税を始めとする各国への圧力により、私たち再生資源業界も少なからず影響を受けております。自動車産業への打撃によるスクラップ価格の影響が懸念されます。輸出産業の不振でパッケージとして段ボールの需要が減ると、古紙相場にも影響します。更に円高傾向は、古紙輸出にとって不利になります。燃料費が若干下がってきたことはプラス要因ですが、諸物価高騰の中では焼け石に水状態です。そのような厳しい中でも、企業においては、ベースアップと働き方改革に取り組んでいかななくてはなりません。

今回のヴィーナスでは、回収作業に従事している方々の声を取り上げました。資源回収は、簡単そうに見えますが、大変な作業です。置いてあるものをただ積み重ねていわけではないのです。委託回収では、公共の仕事である責任感や市民対応と、精神的な負担も大きく、ドライバーの求人が困難になつていく中、離職を回避するためにも作業員の心理的負担を減らしていきたいと考えています。市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。(TKO)